

事業所名: EISUみらい塾

公表日

2026年 2月 18日

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
〈環境・体制整備〉 1-①. 利用定員が、発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・学習の際は個別で集中でき、活動の際は複数人で集まれるスペースも確保している。	・保護者の迎えが遅れる場合には、席の移動を徹底する。また、学習後の後片付けを確実に行い、速やかに帰宅できるよう努める。 ・活動スペースを学習に使った際は、荷物の移動をスムーズに行うようにする。
〈環境・体制整備〉 2-①. 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・一対一での支援体制と、全体の状況を常時把握できる職員配置により、不測の事態にも迅速に対応できる体制を整えている。	・利用に関しては利用者の希望を第一に考え優先しているため、曜日によっては利用時間が特定の時間に集中している。
〈環境・体制整備〉 3-①. 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・子どもが自主的に活動しやすいように用具は整理して置き場所を決め、ラベリングして分かりやすく示している。 ・様々な告知を積極的に張り出している。	・聴覚過敏のある利用者が安心して過ごせるよう、部屋の隅（一番端っこ）の席を含めた音環境について見直し、必要な配慮や環境調整を検討していく。
〈環境・体制整備〉 4-①. 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	9	0	・毎朝の清掃や日々の環境整備を大切に、子どもが安心して過ごせる、清潔で整った空間づくりを心がけている。	・活動場所にある流しはお湯が出ないので、要望をあげてつけてもらえるようにする。
〈環境・体制整備〉 5-①. 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・利用者の要望に応じて、応接室や和室（休養室）で療育ができるようにしている。	・今後もこの取り組みを継続していく。
〈業務改善〉 6-①. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・毎朝の職員ミーティングで情報を共有している。 ・行事、個別支援計画の更新を機に記録や改善を行っている。	・非常勤職員に、会議内容の共有が十分に行えない時があるので改善していく。
〈業務改善〉 7-①. 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・12月にアンケートを実施し、集計と分析を行い職員間で共有している。 ・保護者がアンケートに答えやすいように、今年度はGoogleフォームで評価を実施し、その結果多くのご意見をいただくことができた。	・今後もっと積極的に意見交換をしていく。
〈業務改善〉 8-①. 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・毎朝の職員ミーティングを始め、随時意見を出し合う場で、療育の内容や方針について意見交換し改善につなげている。	・今後もこの取り組みを継続していく。
〈業務改善〉 9-①. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		・第三者による外部評価の導入、活用を検討する。
〈業務改善〉 10-①. 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・研修の案内は職員に周知し、勤務時間内での受講ができるように配慮している。 ・所内の研修は年間計画を基に、月1時間以上の時間を確保している。	・個人的な研修は時間確保が難しい面がある。
〈適切な支援の提供〉 11-①. 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・利用者には個別支援計画と一緒に、支援プログラムを渡して説明している。 ・HPへ掲載し、一般にも公表している。	

<p>〈適切な支援の提供〉 12-①. 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートへの記入依頼や聞き取りを通して、利用者のニーズや課題を丁寧に把握し、モニタリング結果とあわせて支援計画の作成・見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。
<p>〈適切な支援の提供〉 13-①. 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解のもとで、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者による見取と分析を基にして、職員全員で協議検討し、個別支援計画の更新を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分析や協議、検討に時間を要することがあるため、今後はより効率的・効果的に進められるよう検討する。
<p>〈適切な支援の提供〉 14-①. 個別支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った一貫性のある支援が行えるように、療育内容や支援方針をまとめて明記したものを個別の療育ボックスに入れ、担当者が毎回確認するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面での伝達になることもあり、十分に意図が伝わらないことがある。
<p>〈適切な支援の提供〉 15-①. 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシート、保護者提供の各種検査結果、日々の行動観察を行っている。 ・療育前に支援記録を確認し、前回までの様子や注意事項を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に情報交換の必要がある場合は共有する時間を取り丁寧にを行うが、通常は記録のみで確認は個々に任せている。
<p>〈適切な支援の提供〉 16-①. 個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特に本人支援は3観点以上の支援を行っている。気になる点は保護者に伝えたり聞いたりして取り組む。 ・他事業所との連携も含め、じっくり本人やご家族と向き合いながら支援について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援や地域支援・地域連携については、今後さらに充実させていく必要がある。
<p>〈適切な支援の提供〉 17-①. 活動プログラムの立案を、チームで行っているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一対一の療育を基本としながらも、療育後の振り返りと引き継ぎを通して、複数の職員の視点を取り入れたチームでの支援計画立案を行っている。 ・自主選択活動について、困ったことや新たに取り入れたいことなどを職員で共有し、意見を出し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。
<p>〈適切な支援の提供〉 18-①. 活動プログラムが固定化しないように、工夫しているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や保護者の意向も取り入れながら療育を行っている。 ・日々の支援記録や職員間での共有により、活動内容を考える機会・時間がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の活動になるので広がりがない面も見られるので、来年度、改善案の試行を計画している。
<p>〈適切な支援の提供〉 19-①. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動を基本としながらも、同じ時間帯に利用する子ども同士の関わりが生まれるよう配慮している。 ・児童の状況に応じて集団活動も取り入れ、子どもの様子や相性を踏まえながら無理のない形で行うよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時間が同じ児童がないことがあり、集団活動に取り組めないことがある。 ・来年度、小集団活動を取り入れる方向で現在、計画と調整を行っている。
<p>〈適切な支援の提供〉 20-①. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の職員ミーティングで当日の打ち合わせを行っている。 ・特に子どもの心の状態やそれによって起こりうる言動などは予測し、対応を考えている。 ・変更等があった場合も他の職員がかわりに療育に入れるように準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。

<p>〈適切な支援の提供〉 21-①. 支援終了後には、職員間でも必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。</p>	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに連携が必要なことに関しては、必ずその日に行っている。その他の内容については次の日の朝の職員ミーティングで共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間でも打ち合わせの時間は確保していく。
<p>〈適切な支援の提供〉 22-①. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の様式を統一し、記録しやすいようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育前には担当する子どもの記録を確認し、状況把握に努めているが、十分でない場合もあるため、記録確認を確実にできるような改善を図っていく。
<p>〈適切な支援の提供〉 23-①. 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年に3回のモニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っている。 ・担当者の視点に加え、職員間で協議することで、偏りのない支援につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。
<p>〈適切な支援の提供〉 24-①. 放課後等デイサービスのガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特設行事や季節行事を取り入れることで活動に変化を持たせ、創作活動で制作した作品を所内に掲示するなど、成功体験を積み重ねられる支援を行っている。 ・子どもの特性に配慮し、併設する高校の高校生ボランティアの受け入れを通して、安心できる環境の中で交流の機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の機会の提供については不十分なので、今後交流の機会を検討していく。
<p>〈適切な支援の提供〉 25-①. 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされているか等、自己決定を育てるための支援を行っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は自己選択を基本としており、子どもが自己決定できるよう促している。 ・季節の活動などは張り紙等を用い、子どもが興味関心、意欲がでるような環境を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の種類を増やしたり、できるようになったら次のステップへ移行できるように支援していく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 26-①. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議等には児発管が出席している。 ・会議に参加後は職員に報告し情報を共有しており、記録にも残している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 27-①. 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。</p>	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携会議には必ず出席している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等との積極的な連携はできていないので、今後働きかけを検討していく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 28-①. 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から行事の予定をもらったり、行事や定期考査の時期等の確認を通して、当事業所の特設行事等の日程を調整したり、利用者にとって無理のない日程となるように配慮しながら、随時対応している。 ・送迎時の緊急対応に関しては、すぐに連絡が取れるよう携帯電話を所持している。 	
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 29-①. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。</p>	0	9		<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ行っていないが、必要に応じて連携できるよう体制を整えておく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 30-①. 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。</p>	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所を通じて、必要に応じて情報提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事務所にはまだ直接情報提供を行ったことはないが、今後様子を尋ねたり情報提供するなど積極的な動きを検討していく。

<p>〈関係機関や保護者との連携〉 31-①. 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。</p>	0	9		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ連携を図れていない。 ・日頃からつながりを持てるよう、機会を探っていく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 32-①. 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。</p>	0	9		<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じている児童や保護者は少ないが、今後、子ども達にとってどのような内容や形式での交流がいいのか、検討をしていく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 33-①. (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。</p>	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者と児発管が参加しているが、参加を希望する職員も参加できるように情報提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も福山市の福祉行政について、より具体的に把握するためにも、積極的に参加を募っていく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 34-①. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者送迎時に、療育の内容や児童の様子を丁寧に伝えている。 ・課題や成果については、職員間で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に伝える話は簡潔にまとめ、時間内の引き渡しができるよう心掛けていく。
<p>〈関係機関や保護者との連携〉 35-①. 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。</p>	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所や地域の活動に関する資料、外部の研究やイベントなどのお知らせは受付に置いており、気軽に手に取ることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は意見交換を主とした保護者会を希望されているので、その希望に合わせた形で実施していく。(今年度の保護者会は参加者がごく少数だったため開催見送り) ・家族支援プログラムのニーズはない。
<p>〈保護者への説明等〉 36-①. 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明を行い、質問等にも対応している。 ・内容の更新があった場合は周知をしている。 	
<p>〈保護者への説明等〉 37-①. 個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時や支援計画の受け渡し時に、保護者と子どもの意向を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員同時に行うため更新までに時間がかかりすぎるので、より効果的で効率的な方法を探っていく。
<p>〈保護者への説明等〉 38-①. 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域との関係を示しながら、支援計画の内容について丁寧に説明している。 ・説明後には質問の機会を設け、納得を得たうえで同意をいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来所が難しく、対面で説明できない場合の対応方法を検討していく。
<p>〈保護者への説明等〉 39-①. 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・希望に応じて時間を設定し、対面での面談や電話で支援を行っている。 ・記録を残し、職員全体で共有し支援につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の伝達の流れで相談を受けることも多く、すぐに記録がとれないことがある。
<p>〈保護者への説明等〉 40-①. 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会(年2回の開催)、行事への兄弟姉妹参加を募っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の日程調整が難しい。来年度は療育を自由に参観してもらう週間を設け、その後保護者会を行うなど参加しやすい状況を模索していく。 ・保護者が主体となって活動する父母の会はまだできていない。
<p>〈保護者への説明等〉 41-①. 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。</p>	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・所内(受付窓口等)に数カ所ポスターを掲示し、周知をしている。 ・相談があればすぐに対応や改善ができるよう、体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もこの取り組みを継続していく。

<p>〈保護者への説明等〉 42-①. 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。</p>	9	0	<p>・HPや所内の掲示などで活動内容を知らせたり、必要に応じてお便りを発行してお知らせをしている。</p>	<p>・利用日によってお知らせにずれが生じるので、今後は保護者アプリを導入しメールを活用していく。</p>
<p>〈保護者への説明等〉 43-①. 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。</p>	9	0	<p>・掲示する内容や写真については、必ず子ども本人や保護者に確認をとっている。</p>	
<p>〈保護者への説明等〉 44-①. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしているか。</p>	9	0	<p>・「どの子どもにもわかりやすく」を基本に、可能な限り可視化している。 ・補足説明を加えるなど、子どもの様子に合わせて配慮を行っている。</p>	<p>・難聴だけでなく、様々な意思疎通の困難さに対応できるようにしていく。</p>
<p>〈保護者への説明等〉 45-①. 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。</p>	0	9		<p>・地域に開かれた事業運営は現在できていない。子どもの特性を考えながら、取り組みを模索していく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 46-①. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。</p>	9	0	<p>・所内にも掲示をして、職員の注意喚起を行っている。 ・避難訓練時には、職員全員が役割を再確認している。</p>	<p>・職員だけの訓練も検討している。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 47-①. 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。</p>	9	0	<p>・年3回、様々な状況を想定した避難訓練（水害・火災・地震）を行っている。 ・非常災害時の職員の役割分担も作成し周知している。</p>	<p>・今後もこの取り組みを継続していく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 48-①. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。</p>	8	1	<p>・アセスメントシートで服薬やてんかん発作等の状況を把握し、確認している。</p>	
<p>〈非常時等の対応〉 49-①. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。</p>	8	1	<p>・現在指示書がある児童はいないが、アレルギー有無の一覧表は作成している。 ・飲食を伴う行事等を行う場合は、保護者に確認している。</p>	<p>・今後もこの取り組みを継続していく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 50-①. 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な設置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。</p>	9	0	<p>・安全に療育や送迎を行うためのマニュアルを策定し、貼りだす等して周知している。</p>	<p>・安全管理に関する訓練を行い、危機管理意識を高めていく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 51-①. 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。</p>	7	2	<p>・HPに掲載し、周知を図っている。</p>	<p>・家族等への周知が十分とは言えないので、HP以外の方法についても模索していく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 52-①. ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。</p>	9	0	<p>・事案があれば、すぐに職員全員で報告と検討を行い共有している。 ・その都度記録している。</p>	<p>・今後もこの取り組みを継続していく。</p>
<p>〈非常時等の対応〉 53-①. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。</p>	9	0	<p>・毎月1回行う振り返りを通して、自分の言動を確認し注意を促している。 ・課題を共有し、改善へ向けて取り組んでいる。</p>	<p>今後もこの取り組みを継続していく。</p>